

本年4月1日に取締役社長に就任いたしました
ほしの こうじ
星野晃司でございます。

株主・投資家の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、事業環境の変化に対応すべく、2015年に「長期ビジョン2020」を策定し、グループ経営理念の実現とさらなる事業成長を目指しております。

そのような中、2017年4月に小田急線開業90周年を迎えたほか、2018年3月には小田急の積年の夢ともいふべき複々線化が実現いたします。この複々線完成を契機として、鉄道事業をはじめとしたグループ各事業が展開する沿線エリアの事業基盤を強固なものとするとともに、沿線外への進出や新規事業の開発等を通じて、「長期ビジョン2020」の実現に向けた取組みを加速させてまいります。

株主・投資家の皆さまにおかれましては、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



取締役社長 星野晃司

第96期(2016年度)連結決算の概要

営業収益は5,230億3千1百万円と、前連結会計年度に比べ67億8千万円の減少(前期比1.3%減)となりました。

これに伴い、営業利益は499億4千6百万円と、前連結会計年度に比べ29億8千7百万円の減少(前期比5.6%減)となりました。

一方、経常利益は466億3千8百万円と、営業外損益の改善等により、前連結会計年度に比べ9億4千3百万円の増加(前期比2.1%増)となりましたが、親会社株主に帰属する当期純利益は260億6千7百万円と、特別利益の減少及び特別損失の増加等により、前連結会計年度に比べ14億3千万円の減少(前期比5.2%減)となりました。

第97期(2017年度)の見通し

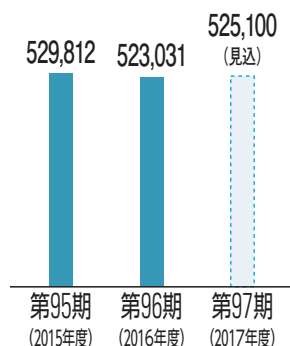
流通業において、外部への株式譲渡に伴いホームセンター事業を営む(株)ビーバートザンが連結除外となるほか、百貨店業での減収を見込む一方、それ以外の事業で増収を見込むことから、営業収益は5,251億円(前期比0.4%増)を見込んでおります。

これに伴い、営業利益は502億円(前期比0.5%増)を見込んでおります。

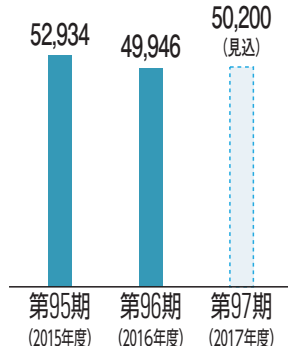
また、営業外収益の減少等により、経常利益は455億円(前期比2.4%減)を見込む一方、特別損失の減少等により、親会社株主に帰属する当期純利益は290億円(前期比11.2%増)を見込んでおります。

連結業績ハイライト (単位：百万円)

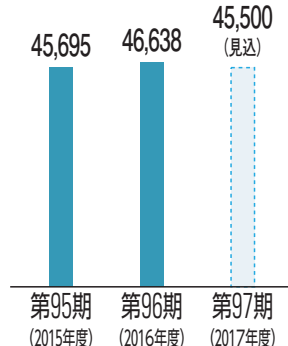
営業収益



営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益

